

# 来週の『売り物』記事はこれ



2015年10月2日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

## 三平一門の柱 海老名香葉子 81歳の「闘い」

4日（日）



海老名香葉子さん（81）＝写真＝は初代林家三平の妻として「昭和の爆笑王」を支え、現在は「おかみさん」として大所帯の一門を束ねています。最近では東海地方唯一の寄席、大須演芸場の再開場に尽力するなど精力的な活動を続けています。そんな海老名さんは東京大空襲で家族6人を失った戦災孤児でした。雑草を食べて生き延び、落語家の養女となり、三平さんと



知り合います。正月の餅を買うお金もなかった新婚時代。テレビの普及とともに三平さん人気は高まり、2男2女に恵まれました。ところが、54歳の若さで三平さんは逝ってしまいます。落語界では、師匠を失った若手は一門を離れるのがしきたりですが、海老名さんは当時の協会長、柳家小さん師匠に直談判し、分裂の危機を乗り越えます。「私には戦後はないんです。今も闘っているんです」。海老名さんと家族、一門に迫りました。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

実現の可能性はあるのか？

## 共産党が提案した野党の選挙協力

夕刊2面特集ワイド 5日（月）



共産党が野党各党に提案した連立政権構想と国政選挙での選挙協力の行方に注目が集まっています。与党が根強い国民の反対を押し切って成立させた安全保障関連法の廃止と、立憲主義を取り戻すことが大義名分。「自民一強」が続く中、来年夏の参院選や次の衆院選で野党側が勝利するには渡りに舟の構想に見えますが、民主党や維新の党は慎重な姿勢です。この動きをどう見ればいいのか、野党共闘は実現するのでしょうか。専門家とともに考えます。

## 「Tokiko's Kiss」

おんなのしんぶん  5日（月）

月1回掲載の加藤登紀子さんの対談コーナー。今回のゲストは、MISIA（ミーシャ）さんです。「つつみ込むように…」などのヒット曲で知られるミュージシャンですが、音楽活動の傍ら、アフリカで孤児の教育やマラリア撲滅などの支援を続けています。何度かアフリカを訪れたことがある加藤さんと、アフリカで見た「本当の豊かさ」などについて語り合いました。また、長崎県出身のMISIAさんは、戦争と平和についてもお話いただきました。お楽しみに！



## どうぶつと生きる・犬の白内障

くらしナビ面 6日（火）



嗅覚の発達した犬ですが、行動の大半を視覚情報に頼っています。犬も発症する「白内障」は症状が進むと強い視覚障害を招きます。年を取ってなる病気と思われがちですが、犬の場合は遺伝によって発症することも多いです。老化によるものでない白内障の進行は早いそうです。愛犬の失明を避けるためにも、犬の白内障について分かりやすく説明した記事で勉強してみませんか。

## 連載「戸籍がない」

くらしナビ面 7日(水)から計3回

戸籍は、名前、生まれた日、家族関係を証明する身分証明の基礎となる公文書です。しかし、出生届が出されず、戸籍がないまま暮らしている人たちがいます。戸籍がなければ住民票の作成も銀行口座の開設もできません。無戸籍であることが社会生活においてどんな困難をもたらすか、無戸籍の人を支援するためには何が必要か。3回にわたって考えます。



## 調べました

くらしナビ面 10日(土) (不定期掲載)



くらしナビ面には読者の方々からたくさんのお便りが寄せられます。その中には、日ごろからの疑問を投げかけてくださるものもあります。そこで10月から新たに、読者の質問に答える「調べました」を始めることにしました。初回は、ゲーム好きなお孫さんの近視を心配するおばあちゃんからの「ブルーベリーのサプリメントで近視を改善できないか」という質問に、記者が調べて報告します。

## 忘れ得ぬ兄への思い

朝刊文化面 10日(土)

薄れる記憶とよみがえる記憶——。映画「ペコロスの母に会いに行く」(2013年)で、認知症の母と介護する息子の姿を描いた森崎東監督(87)。今、自身も同じ病と闘う映画作家に、次作を期待する声も少なくありません。長年、喜劇を創作してきた森崎さんの起点には、兄で敗戦の翌日に割腹自殺を遂げた海軍少尉候補生、湊さんへの忘れ得ぬ思いがありました。



# 小学生新聞

小学生新聞 来週の  
“売り物”、記事はこれ!



10月11日は「ファールブル昆虫記」で有名なファールブルが亡くなってからちょうど100年になります。これにちなみ、毎小では「ファールブル100年」企画をお届けします。6日(火)は好奇心いっぱい、実験好きなファールブルの生涯を紹介。7日(水)はファールブルに学ぶ昆虫採集の方法やコツを伝授します。8日(木)は陰山英男先生のコラム「絶対成績が上がる勉強法」です。どうぞお楽しみに!

どうぞお楽しみに!